

## 平成24年度決算状況

投資的経費は大型の公共事業が増えているため増加、同時に公債費も増加しました。

## 歳出

### 平成24年度性質別歳出内訳から

主な区分	構成比	前年比	区分解説
消費的経費	45.9%	-1.6%	後の年度に形を残さない性質の経費。
内訳	人件費	18.9%	短期のパートタイマー等の賃金は物件費。
	物件費	15.6%	消費的経費の内、様々な経費の総称。委託料、消耗品取得費等
	その他	11.3%	維持補修費、補助費等。
投資的経費	9.7%	5.4%	各種社会資本整備等、支出の効果が長期にわたる経費。
扶助費	24.7%	1.3%	被扶助者に対して支給される福祉施策の根幹を成す経費
公債費	10.4%	7.4%	地方公共団体が借り入れた借金の元利償還金など。
繰出金	7.8%	6.4%	特別会計の歳入不足を補うものなど。

\* 人件費、公債費、扶助費を合わせて義務的経費。

## 歳入

### 平成24年度税目別収入済額比較

区分	構成比	前年比	増減理由
市民税	46.5%	3.8%	年少扶養控除廃止の影響等により個人市民税が増加。
固定資産税	39.0%	-3.2%	固定資産評価の見直し(原則3年に1度)などによるもの。
軽自動車税	0.7%	3.2%	自家用軽自動車の登録台数増加によるもの。
市たばこ税	3.8%	-1.5%	売渡し本数の減少によるもの。
特別土地保有税	0.0%	皆減	滞納整理が終了したため。
事業所税	2.8%	2.1%	現年課税分の課税標準額*の増加によるもの。
都市計画税	7.1%	15.2%	税率改定(0.25%→0.3%)などによるもの。

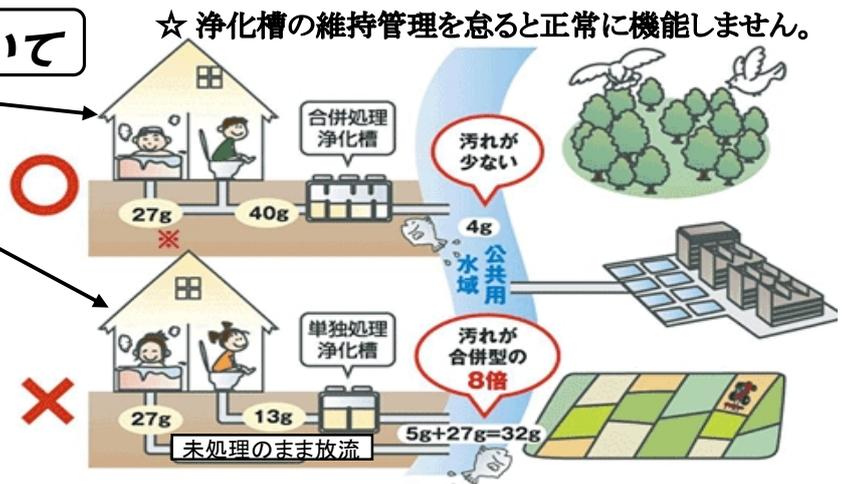
\* 租税を賦課する標準となる額。

## 平成24年度決算質疑

歳出について本会議及び常任委員会で個々の事業をチェックし、市の考え方を問いました。下記の2つの他、アカシア通り整備(東武ホテル前の通り)、農業ふれあいセンター事業、大学と連携した人材育成等について取り上げました。(詳細は11/2の議会報告会で)

### 合併処理浄化槽整備について

市では設置と維持管理の2つの補助金を出すことで整備を促してきましたが、未だ市内には8500基の単独処理浄化槽があり、補助金事業の予算は年間約40基分です。県が12年後までに全ての単独処理浄化槽等を転換し生活排水処理率100%を目標にしていることをどう考えるかとの間に「目標達成は困難との認識を示し予算確保に努め県の動向を注視したい」と答えました。



この補助だけでは200年かかる?

環境省ホームページより

### 放置自転車防止対策について

放置自転車防止対策には年間約3200万円をかけており、その7割弱は自転車放置防止のための自転車置き方指導業務委託としてのシルバー人材センターへの委託料です。駅周辺で自転車を放置させないために指導員が業務にあたる姿は多くの方が目にされていると思います。しかしこの業務がいつの間にか、指導はせず「放置自転車に警告札を貼る係り」になって

はいないか、市が望む業務が適切に行われているのかという点について市の認識を問いました。

答弁では、市民からも苦情が寄せられることがあり、市の職員も不適切な業務を見かけているため、これまでも改善を依頼しているとのことでしたが、改善依頼で長年改善されないのであれば抜本的な見直しが必要ではと、さらに問いました。

市からは新たな指導研修方法等が示され、より積極的に取り組む姿勢が感じられました。今後の変化に注目しましょう。



